

元気に育ってね！

岩木川芦野堰魚道
ヤマメ体験学習放流会

岩木川漁業協同組合が、6月6日(土)岩木川芦野堰^{せき}にある魚道で武田小4年生と保護者を招き、ヤマメの放流会を行いました。

この日は晴天に恵まれ、用意された体長13~14センチのヤマメ約2,000匹の稚魚や幼魚を放流しました。また、放流前には、弘前大学・東教授が、参加した児童たちにヤマメの生態について説明しました。

放流では、子どもたちが約20匹の稚魚が入ったバケツをもち、魚道に並んで「せいの」のかけ声で一斉に放流しました。放流されたヤマメたちは、流れの速い川でも元気よく泳いでいきました。参加した児童は「ヤマメが小さくてかわいい。無事に大きくなって戻ってきて欲しい」と感想を話していました。

より高みを目指す

宝富士関・阿武咲関激励会

当町出身で伊勢ヶ浜部屋所属の宝富士関(本名：杉山大輔)と阿武松部屋所属の阿武咲関(本名：打越奎也)の活躍を応援しようと6月27日(土)町総合文化センターパルナスで激励会が行われました。

宝富士関・阿武咲関激励会実行委員会が主催した会には、後援会会員など約400人が駆け付け、三役昇進が確実視される宝富士関と、先場所を勝ち越し幕内昇進に向けて着実に進む阿武咲関の奮闘をたたえました。

後援会会長の小野町長が「宝富士関はめきめきと強くなっている。阿武咲関も今年中に幕内に入ること期待している」と激励。宝富士関は「来場所は

2桁白星でより高みを目指す」、阿武咲関は「これまで以上に1日1日を大切に稽古していきたい」と来場所に向けて気合い十分に話しました。

その後、全国優勝した津軽相撲甚句会が両関取とともに甚句を披露し、会場からは拍手が起きました。

会場に詰めかけた人たちは、「いよいよ小結になる。この日をずっと待っていた。これからも応援するので、より一層がんばってほしい」とさらなる活躍を期待していました。



後輩たちと記念撮影



甚句を歌う両関取

ふるさと
納税
ありがとうございました

寄附金額 三万円
吉田 曠 二様
〈大阪府高槻市〉

